

# ヒブワクチン予防接種を受けるにあたっての説明

## ● ヒブ（Hib）感染症とは

ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型（Haemophilus influenzae type b）という細菌の略語で、頭文字をとってHibと記します。冬に流行する季節性インフルエンザとは、全く別のものです。

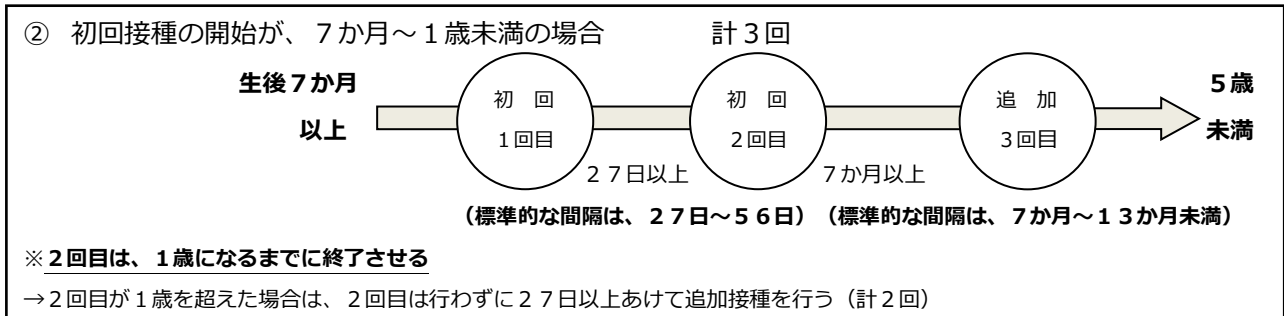
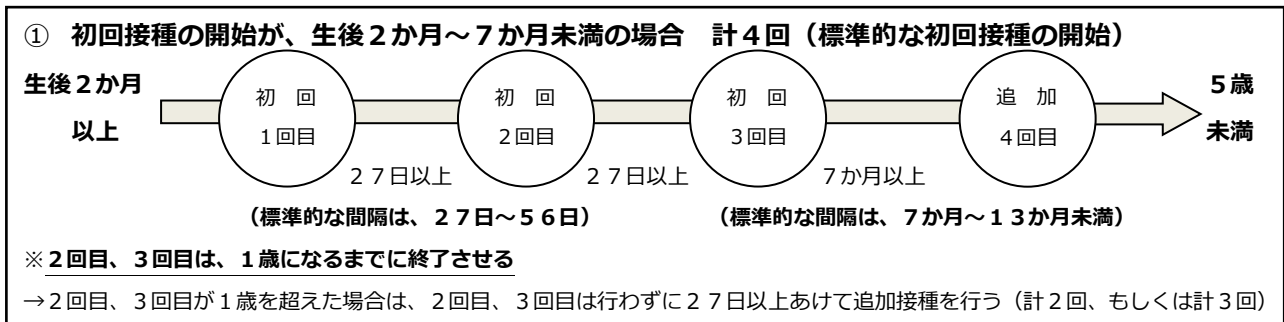
ヒブ細菌が咳やくしゃみ、会話等で発生する飛沫を介して感染し、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの感染症のほか、深刻な感染症である細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎などを起こす場合があります。

なかでも髄膜（脳や脊髄を覆う膜）に感染するヒブ髄膜炎は最も頻度が高く、予後が悪い病気です。5歳未満がかかりやすく、特に生後4か月から1歳になるまではかかりやすいので注意が必要です。

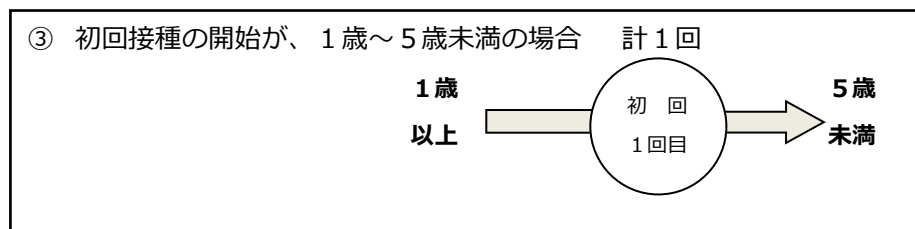
## ● 接種年齢：生後2か月～5歳未満

（標準的な初回接種の開始は、2か月～7か月未満）

## ● 接種スケジュール：初回接種の開始時期により、接種する回数が異なります



※ 医師が必要と認めた場合は、初回2回目、3回目の接種間隔を27日から20日に変更できます



## ● 主な副反応

接種部位が赤く腫れたり発熱などの症状がおこる場合がありますが、程度や頻度は決して高くありません。